

令和5年度（上半期）

丹羽広域事務組合水道事業報告書

自 令和5年 4月 1日

至 令和5年 9月30日

目 次

1	経理の状況		
	(1) 業務の状況	-----	1
	(2) 損益計算書	-----	2
	(3) 貸借対照表	-----	3
2	事業の概要		
	(1) 営業について	-----	5
	(2) 改良工事について	-----	5
	(3) 主な請負契約工事の内容	-----	6
3	業務		
	(1) 事業収入に関する事項	-----	8
	(2) 事業費用に関する事項	-----	8
	(3) 料金の状況	-----	9
	(4) 有収水量の状況	-----	9
	(5) 配水量の状況	-----	9
	(6) 給水負担金の状況	-----	9
	(7) 検針・徴収の状況	-----	9
4	会計		
	(1) 重要契約の要旨	-----	10
5	令和4年度決算状況		
	(1) 総括事項	-----	11
	(総括)	-----	11
	(経理の状況)	-----	11
	(改良工事)	-----	11
	(業務)	-----	11
	(2) 予算に対する決算状況	-----	12
	(3) 損益計算書	-----	12
	(4) 貸借対照表	-----	13

令和5年度水道事業会計（上半期）

1 経理の状況

(1) 業務の状況（税込）

ア 収益的収入及び支出

(収入)

(単位：円)

科 目	予 算 額	収 入 額	比率(%)	備 考
第1款 事業収益	1,178,424,000	493,655,136	41.9	(うち仮受消費税) 39,972,488
第1項 営業収益	983,821,000	440,502,662	44.8	(") 39,968,789
第2項 営業外収益	194,602,000	53,152,474	27.3	(") 3,699
第3項 特別利益	1,000	0	0.0	(") 0

※営業外収益中、長期前受金戻入については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(支出)

(単位：円)

科 目	予 算 額	支 出 額	比率(%)	備 考
第1款 事業費用	1,086,949,000	410,861,709	37.8	(うち仮払消費税) 16,837,199
第1項 営業費用	1,053,467,000	406,673,065	38.6	(") 16,831,250
第2項 営業外費用	27,817,000	4,123,193	14.8	(") 0
第3項 特別損失	165,000	65,451	39.7	(") 5,949
第4項 予備費	5,500,000	0	-	

※営業費用中、減価償却費については、年間予算額の2分の1を計上しました。

イ 資本的収入及び支出

(収入)

(単位：円)

科 目	予 算 額	収 入 額	比率(%)	備 考
第1款 資本的収入	438,442,000	33,401,970	7.6	(うち仮受消費税) 2,800,970
第1項 企業債	160,000,000	0	-	
第2項 工事負担金	278,442,000	33,401,970	12.0	(") 2,800,970

(支出)

(単位：円)

科 目	予 算 額	支 出 額	比率(%)	備 考
第1款 資本的支出	787,960,000	41,892,872	5.3	(うち仮払消費税) 1,174,395
第1項 建設改良費	774,413,000	35,134,889	4.5	(") 1,174,395
第2項 企業債償還金	13,547,000	6,757,983	49.9	

(2) 損益計算書 (税抜)

上半期分 (令和5年4月1日～令和5年9月30日)

(単位: 円)

1 営業収益			
(1) 給水収益	386,979,331		
(2) 受託工事収益	395,900		
(3) その他の営業収益	13,158,642	400,533,873	
2 営業費用			
(1) 配水及び給水費	235,934,794		
(2) 受託工事費	370,000		
(3) 総係費	9,306,021		
(4) 減価償却費	144,231,000	389,841,815	
営業利益			10,692,058
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	5,449		
(2) 長期前受金戻入	47,426,500		
(3) 雑収益	5,716,826	53,148,775	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	4,123,193		
(2) 雑支出	0	4,123,193	49,025,582
経常利益			59,717,640
5 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	59,502	59,502	△ 59,502
当年度純利益			59,658,138
前年度繰越利益剰余金			134,947,047
その他未処分利益剰余金変動額			0
当年度未処分利益剰余金			194,605,185

※減価償却費については、年間予算額の2分の1を計上しました。

※長期前受金戻入については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(3) 貸借対照表 (令和5年9月30日現在)

資産の部

(単位：円)

1 固定資産				
(1) 有形固定資産				
ア 土地		178,978,608		
イ 建物	9,925,450			
減価償却累計額	△ 6,232,946	3,692,504		
ウ 構築物	12,691,836,014			
減価償却累計額	△ 6,040,225,887	6,651,610,127		
エ 機械及び装置	249,750,040			
減価償却累計額	△ 196,752,685	52,997,355		
オ 車両運搬具	22,824,075			
減価償却累計額	△ 11,382,295	11,441,780		
カ 工具器具及び備品	73,573,788			
減価償却累計額	△ 34,577,924	38,995,864		
キ 建設仮勘定		118,272,000		
有形固定資産合計			7,055,988,238	
(2) 無形固定資産				
ア 電話加入権		1,265,400		
無形固定資産合計			1,265,400	
固定資産合計				7,057,253,638
2 流動資産				
(1) 現金預金			877,951,880	
(2) 未収金		13,130,470		
貸倒引当金		△ 295,378	12,835,092	
(3) 貯蔵品			1,134,960	
(4) 概算払			31,900	
(5) 前払金			2,467,100	
(6) 仮払消費税			18,697,366	
流動資産合計				913,118,298
資産合計				7,970,371,936

負債の部

(単位：円)

3 固定負債				
(1) 企業債			1,094,031,883	
(2) 引当金				
ア 退職給付引当金		25,032,290		
引当金合計			25,032,290	
固定負債合計				1,119,064,173
4 流動負債				
(1) 企業債			6,788,967	
(2) 未払金			4,064,995	
(3) 前受金			5,682,612	
(4) 預り金			36,991,658	
(5) 仮受消費税			42,773,458	
流動負債合計				96,301,690
5 繰延収益				
ア 国庫補助金長期前受金		19,063,354		
収益化累計額		△ 4,103,454	14,959,900	
イ 県費補助金長期前受金		65,605,639		
収益化累計額		△ 54,118,742	11,486,897	
ウ 工事負担金長期前受金		4,346,107,742		
収益化累計額		△ 1,933,155,177	2,412,952,565	
エ 受贈財産評価額長期前受金		79,431,826		
収益化累計額		△ 16,306,207	63,125,619	
繰延収益合計				2,502,524,981
負債合計				3,717,890,844

資本の部

(単位：円)

6 資本金				
(1) 自己資本金				
ア 固有資本金		17,800,646		
イ 出資金		747,568,613		
ウ 組入資本金		2,882,239,712		
自己資本金合計			3,647,608,971	
資本金合計				3,647,608,971
7 剰余金				
(1) 資本剰余金				
ア 工事負担金		95,068,288		
イ 受贈財産評価額		1,198,648		
資本剰余金合計			96,266,936	
(2) 利益剰余金				
ア 利益積立金		30,000,000		
イ 建設改良積立金		284,000,000		
ウ 当年度未処分利益剰余金		194,605,185		
利益剰余金合計			508,605,185	
剰余金合計				604,872,121
資本合計				4,252,481,092
負債資本合計				7,970,371,936

2 事業の概要

(1) 営業について

令和5年度上半期（令和5年4月～令和5年9月）における有収水量は299万5千 m^3 であり、前年度と比較し、5万7千 m^3 の減で98.1%となりました。

収益的収支の収入は、事業収益が予算額11億7,842万4千円に対して、4億9,365万5千円で41.9%の執行率となり、そのうち水道料金収入は4億2,564万9千円で、口座振替加入率が82.2%となっております。

支出では、事業費用として予算額10億8,694万9千円に対し、執行額は4億1,086万2千円で37.8%の執行率となっております。

資本的収支は、収入3,340万2千円に対し、支出は4,189万3千円となっております。

給水業務については、新規給水申込が118件で、前年同期の件数と比較すると26件の減となりました。

下半期についても一層の経費削減に心掛け、健全経営に努めてまいります。

区分	単位	令和4年度上半期	令和5年度上半期	増減（△減）
給水戸数	戸	24,644	24,962	318
給水人口	人	59,196	59,210	14
配水量	総配水量	m^3 3,397,669	m^3 3,360,294	Δ 37,375
	一日最大配水量	m^3 20,473	m^3 19,897	Δ 576
	一日平均配水量	m^3 18,466	m^3 18,262	Δ 204
有収水量	m^3	3,052,849	2,995,494	Δ 57,355

(2) 改良工事について

今年度としましては、第4次水道整備実施計画に基づく事業として、基幹管路耐震化事業では河北配水場からの基幹管路の耐震化に伴う更新に2億8,839万8千円（令和4年度からの継続費繰越額4,892万8千円を含む）、重要給水施設管路耐震化事業では重要給水施設に給水する管路の耐震化に4,774万円、経年化管路更新事業では給水区域内各地の配水管更新に1億5,862万円、下水道工事等の支障移設等では1億7,402万円、合わせて6億6,877万8千円を予算計上しています。

上半期の状況としましては、4億3,759万5千円を発注し、執行率は65.4%となっております。

(3) 主な請負契約工事の内容

※ () 内は継続事業全体の金額

ア 建設改良工事等 (丹羽広域事務組合少額工事事務取扱基準適用工事を除く)

工 事 名	工 事 内 容
上小口二丁目地内基幹管路更新工事	DIP. NS ϕ 500他 \sim 300.890m
基幹管路更新工事設計業務 (第4区・第5区)	配水管詳細設計、測量業務、地質調査業務
河北配水場No.1配水ポンプ盤インバータ装置更新工事	インバータ装置更新工事 \sim 一式
斎藤字緑地内配水管更新工事	HPPEP ϕ 100他 L=233.903m
斎藤字座敷野地内配水管更新工事	HPPEP ϕ 100他 L=325.122m
竹田三丁目地内配水管支障移設工事	HPPEP ϕ 150他 L=435.508m
高雄字南郷地内消火栓設置工事	地下式単口消火栓 \sim 1基他
高雄字伊勢埴地内配水管布設工事	HPPEP ϕ 50他 L=141.215m
高雄字中海道地内配水管支障移設工事	HPPEP ϕ 50他 L=242.888m
高雄字天道地内配水管布設工事	HPPEP ϕ 50他 L=104.054m
竹田三丁目地内配水管支障移設工事その2	HPPEP ϕ 50他 L=117.314m
高雄字中海道地内配水管支障移設工事その2	HPPEP ϕ 75他 L=522.599m
高雄字福塚地内配水管更新工事	HPPEP ϕ 100他 L=525.883m
高雄字中海道地内配水管支障移設工事その3	HPPEP ϕ 50他 L=155.943m
高雄字突田地内消火栓設置工事	地下式単口消火栓 \sim 1基

イ 配水管新設工事 (丹羽広域事務組合少額工事事務取扱基準適用工事を除く)

工 事 名	工 事 内 容
外坪五丁目地内配水管新設工事No.289	HPPEP ϕ 50 L=46.330m
堀尾跡一丁目地内配水管新設工事No.297	HPPEP ϕ 50 L=41.700m
伝右二丁目地内配水管新設工事No.53	HPPEP ϕ 50 L=23.427m
高雄字羽根西地内配水管新設工事No.68他	HPPEP ϕ 50他 L=21.129m

工事費(円)	着手年月日	完了年月日	備考
157,300,000 (324,500,000)	R4. 5. 25	R6. 3. 15	継続費通次繰越額 48,928,000
21,120,000	R5. 4. 18	R5. 11. 15	
16,500,000	R5. 4. 20	R6. 3. 31	
23,463,000	R5. 4. 20	R5. 9. 15	
26,686,000	R5. 4. 20	R5. 9. 15	
25,520,000	R5. 5. 29	R6. 1. 31	
2,431,000	R5. 6. 19	R5. 8. 31	
13,420,000	R5. 6. 20	R6. 1. 31	
12,815,000	R5. 6. 20	R6. 2. 5	
4,092,000	R5. 7. 7	R5. 9. 12	
4,840,000	R5. 7. 21	R5. 11. 30	
28,380,000	R5. 7. 24	R6. 2. 29	
40,645,000	R5. 8. 10	R6. 2. 26	
8,360,000	R5. 8. 23	R6. 3. 22	
2,079,000	R5. 9. 4	R5. 10. 27	

工事費(円)	着手年月日	完了年月日	備考
2,849,000	R5. 5. 10	R5. 7. 3	
1,980,000	R5. 5. 24	R5. 8. 10	
1,826,000	R5. 7. 7	R5. 9. 8	
1,760,000	R5. 9. 4	R5. 10. 27	

3 業務

(1) 事業収入に関する事項

(単位：円、税抜)

事 項	令和4年度 上半期	令和5年度 上半期	比 較		備 考 (消費税込金額)
			増減(△減)	比率(%)	
営業収益	436,958,586	400,533,873	△ 36,424,713	91.66	440,502,662
給 水 収 益	425,242,831	386,979,331	△ 38,263,500	91.00	425,648,831
受 託 工 事 収 益	131,610	395,900	264,290	300.81	435,490
そ の 他 の 営 業 収 益	11,584,145	13,158,642	1,574,497	113.59	14,418,341
営業外収益	52,729,389	53,148,775	419,386	100.80	53,152,474
受取利息及び配当金	5,283	5,449	166	103.14	5,449
長期前受金戻入	46,768,000	47,426,500	658,500	101.41	47,426,500
雑 収 益	5,956,106	5,716,826	△ 239,280	95.98	5,720,525
特別利益	0	0	0	—	0
過年度損益修正益	0	0	0	—	0
計	489,687,975	453,682,648	△ 36,005,327	92.65	493,655,136

※長期前受金戻入については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(供給単価)

令和4年度上半期 $\frac{\text{給水収益 } 425,242,831 \text{ 円 (消費税相当額抜き)}}{\text{有収水量 } 3,052,849 \text{ m}^3} = 139.29 \text{ 円}$

令和5年度上半期 $\frac{\text{給水収益 } 386,979,331 \text{ 円 (消費税相当額抜き)}}{\text{有収水量 } 2,995,494 \text{ m}^3} = 129.19 \text{ 円}$

(2) 事業費用に関する事項

(単位：円、税抜)

事 項	令和4年度 上半期	令和5年度 上半期	比 較		備 考 (消費税込金額)
			増減(△減)	比率(%)	
営業費用	389,060,350	389,841,815	781,465	100.20	406,673,065
配 水 及 び 給 水 費	242,886,694	235,934,794	△ 6,951,900	97.14	252,699,791
受 託 工 事 費	123,000	370,000	247,000	300.81	407,000
総 係 費	9,140,656	9,306,021	165,365	101.81	9,335,274
減 価 償 却 費	136,910,000	144,231,000	7,321,000	105.35	144,231,000
営業外費用	3,181,277	4,123,193	941,916	129.61	4,123,193
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	2,963,893	4,123,193	1,159,300	139.11	4,123,193
雑 支 出	217,384	0	△ 217,384	皆減	0
特別損失	87,041	59,502	△ 27,539	68.36	65,451
過年度損益修正損	87,041	59,502	△ 27,539	68.36	65,451
計	392,328,668	394,024,510	1,695,842	100.43	410,861,709

※減価償却費については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(給水原価)

令和4年度上半期 $\frac{\text{総費用 } 392,328,668 \text{ 円} - (\text{受託工事費 } 123,000 \text{ 円} + \text{特別損失 } 87,041 \text{ 円} + \text{長期前受金戻入 } 46,768,000 \text{ 円})}{\text{有収水量 } 3,052,849 \text{ m}^3} = 113.12 \text{ 円}$

令和5年度上半期 $\frac{\text{総費用 } 394,024,510 \text{ 円} - (\text{受託工事費 } 370,000 \text{ 円} + \text{特別損失 } 59,502 \text{ 円} + \text{長期前受金戻入 } 47,426,500 \text{ 円})}{\text{有収水量 } 2,995,494 \text{ m}^3} = 115.56 \text{ 円}$

(3) 料金の状況

(単位：千円、税込)

年・率		月						合計
		4	5	6	7	8	9	
令和4年度上半期		72,133	71,412	68,597	87,486	80,710	87,402	467,740
令和5年度上半期		75,593	83,999	76,638	61,965	62,949	64,505	425,649
比較	増減(△減)	3,460	12,587	8,041	△ 25,521	△ 17,761	△ 22,897	△ 42,091
	比率(%)	104.8	117.6	111.7	70.8	78.0	73.8	91.0

(4) 有収水量の状況

(単位：m³)

年・率		月						合計
		4	5	6	7	8	9	
令和4年度上半期		462,956	546,746	449,762	566,580	463,314	563,491	3,052,849
令和5年度上半期		436,583	544,621	443,779	550,048	457,152	563,311	2,995,494
比較	増減(△減)	△ 26,373	△ 2,125	△ 5,983	△ 16,532	△ 6,162	△ 180	△ 57,355
	比率(%)	94.3	99.6	98.7	97.1	98.7	100.0	98.1

(5) 配水量の状況

(単位：m³)

年・率		月						合計
		4	5	6	7	8	9	
令和4年度上半期		581,151	546,141	577,826	567,826	564,212	560,513	3,397,669
令和5年度上半期		560,726	542,490	564,706	554,980	568,971	568,421	3,360,294
比較	増減(△減)	△ 20,425	△ 3,651	△ 13,120	△ 12,846	4,759	7,908	△ 37,375
	比率(%)	96.5	99.3	97.7	97.7	100.8	101.4	98.9

(6) 給水負担金の状況

項目	令和4年度上半期	令和5年度上半期	比較	
			増減(△減)	比率(%)
加入件数(件)	159	142	△ 17	89.3
給水負担金(円)	26,367,000	24,072,400	△ 2,294,600	91.3

※内訳としては、新規申込件数が118件で給水負担金は20,901,100円、口径変更件数は24件で給水負担金は3,171,300円となりました。

(7) 検針・徴収の状況

ア 検針

区分	延件数			2か月平均	
	令和4年度上半期	令和5年度上半期	増減(△減)	令和4年度上半期	令和5年度上半期
総検針件数	71,690	72,724	1,034	23,897	24,241

イ 徴収

区分	延件数			2か月平均		
	令和4年度上半期	令和5年度上半期	増減(△減)	令和4年度上半期	令和5年度上半期	
総徴收件数	72,255	71,352	△ 903	24,085	23,784	
内訳	銀行納付	1,669	1,516	△ 153	556	505
	コンビニ納付	9,405	9,655	250	3,135	3,219
	口座振替	61,049	60,069	△ 980	20,350	20,023
	窓口納付	132	112	△ 20	44	37

4 会計

(1) 重要契約の要旨 ※ () 内は継続事業全体の金額

ア 建設改良工事等（丹羽広域事務組合少額工事事務取扱基準適用工事を除く）

契約年月日	契約金額(円)	工 事 名	契約の相手方
R4. 5. 25	157,300,000 (324,500,000) 継続費通次繰越額 48,928,000	上小口二丁目地内基幹管路更新工事	吉永建設工業(株)
R5. 4. 18	21,120,000	基幹管路更新工事設計業務（第4区・第5区）	中日本建設コンサルタント(株)
R5. 4. 20	16,500,000	河北配水場No.1配水ポンプ盤インバータ装置更新工事	愛知時計電機(株)名古屋支店
R5. 4. 20	23,463,000	斎藤字緑地内配水管更新工事	(有)新栄設備
R5. 4. 20	26,686,000	斎藤字座敷野地内配水管更新工事	熊沢建設(株)
R5. 5. 29	25,520,000	竹田三丁目地内配水管支障移設工事	丸周建設(株)
R5. 6. 19	2,431,000	高雄字南郷地内消火栓設置工事	永光建設(株)
R5. 6. 20	13,420,000	高雄字伊勢埴地内配水管布設工事	(有)吉田設備
R5. 6. 20	12,815,000	高雄字中海道地内配水管支障移設工事	吉永建設工業(株)
R5. 7. 7	4,092,000	高雄字天道地内配水管布設工事	山本設備
R5. 7. 21	4,840,000	竹田三丁目地内配水管支障移設工事その2	丸周建設(株)
R5. 7. 24	28,380,000	高雄字中海道地内配水管支障移設工事その2	永光建設(株)
R5. 8. 10	40,645,000	高雄字福塚地内配水管更新工事	丸周建設(株)
R5. 8. 23	8,360,000	高雄字中海道地内配水管支障移設工事その3	吉永建設工業(株)
R5. 9. 4	2,079,000	高雄字突田地内消火栓設置工事	熊沢建設(株)

イ 配水管新設工事（丹羽広域事務組合少額工事事務取扱基準適用工事を除く）

契約年月日	契約金額(円)	工 事 名	契約の相手方
R5. 5. 10	2,849,000	外坪五丁目地内配水管新設工事No.289	(有)マルイチ吉田水道
R5. 5. 24	1,980,000	堀尾跡一丁目地内配水管新設工事No.297	(有)マルイチ吉田水道
R5. 7. 7	1,826,000	伝右二丁目地内配水管新設工事No.53	(株)丸広水道店
R5. 9. 4	1,760,000	高雄字羽根西地内配水管新設工事No.68他	(株)丸広水道店

5 令和4年度決算状況

(1) 総括事項

(総括)

令和4年度は、水需要と給水収益が減少していく中、施設及び管路を健全な状態に保つための更新費用確保のため、改定率約15%の水道料金改定を行い、経営基盤の強化を図りましたが、電気料金をはじめとするエネルギー単価及び諸物価の高騰により事業費用が大きく増加したため、事業収支全体では当初見込みを下回る結果となりました。給水収益は減少していくことが予想され、水道事業の経営は厳しさを増していきませんが、施設及び管路の更新・耐震化を推進し、安全で安心な水道水をいつまでも安定して供給し続けるために経営の効率化と財政の健全化を図ることが必要です。

第4次水道整備実施計画に基づく事業においては、耐震化及びダウンサイジングを目的とした基幹管路更新事業を開始するほか、重要給水施設への配水管耐震化工事等を施工しました。また、災害時給水ステーション2基の増設及び加圧式給水車の納入により危機管理体制の強化を図りました。そのほか、スマートフォン決済を導入し、水道料金の支払方法の多様化によるお客様サービスの向上を図りました。

今後につきましても、「安全な水道」「強靱な水道」「水道サービスの持続」の三つの施策を柱とした事業を展開し、50年先、100年先を見据え、社会情勢や多様化するニーズと水道を取巻く諸課題に対応し、投資と財政の均衡を保ちつつお客様サービスの向上も図り、信頼性の高い水道事業の構築に努めます。

(経理の状況)

令和4年度の収益的収支(消費税相当額抜)において、営業収益8億3,982万8千円に対し営業費用9億2,667万1千円で、営業損失は8,684万3千円となりました。営業外収益1億8,272万6千円に対し、営業外費用は1,489万9千円で、経常利益は8,098万4千円となりました。

また、特別利益は331万9千円、特別損失は8万7千円でありましたので、当年度の純利益は、8,421万6千円となりました。

次に、資本的収支(消費税相当額込)におきましては、4億7,709万3千円の収入に対し、支出は7億3,022万8千円で、2億5,313万5千円の不足となりました。この不足額は、建設改良積立金5千万円、過年度分損益勘定留保資金1億5,847万3千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額4,466万2千円で補てんしました。

(改良工事)

第4次整備実施計画に基づく更新事業を柱に展開し、水道施設更新事業では昭和56年度に設置された河北配水場の非常用エンジン付きポンプを更新し、配水ポンプ用発電機設備を設置しました。また河北配水場内において、稼働が終了した沈砂池の撤去など場内整備工事のほか、水道部庁舎において換気設備工事を施工し、事業費は8,572万3千円となりました。基幹管路耐震化事業では令和4年度、5年度の継続事業として名古屋上水道と国道41号線の推進工事をダウンサイジングによる更新工事を施工し、令和4年度支出は1億1,827万2千円となりました。

また、経年化管路更新事業において水圧改善等22路線、支障移設工事10路線のほか、重要給水施設管路耐震化事業として大屋敷二丁目地内の福祉施設に対し管路耐震化を施工し、事業費は3億2,249万8千円となりました。

令和4年度の更新事業による前年度比較の経営指標については、経年化管路率は0.2ポイント増の37.7%、管路耐震化率が1.7ポイント増の22.1%、うち基幹管路耐震化率は1.3ポイント増の56.7%となりました。

(業務)

令和4年度末の給水件数は24,422件、有収水量は6,084,812^m、有収率は90.5%です。

新規加入、移動、臨時、口径変更等の給水申込みは、合計812件となり、その他として量水器及び止水栓取替工事を3,537件行いました。検針、徴収業務については、19名の検針委託人と職員で処理しました。なお、徴収業務のうち年度末における口座振替件数は20,215件となり、加入率は82.8%となっています。

(2) 予算に対する決算状況

(単位：円、税込)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算に対する割合(%)
事 業 収 益	1,132,598,000	1,108,312,269	97.86
事 業 費 用	1,024,097,000	995,941,523	97.25
資 本 的 収 入	543,657,000	477,092,824	87.76
資 本 的 支 出	878,217,000	730,228,041	83.15

(3) 損益計算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位：円、税抜)

1 営業収益			
(1) 給 水 収 益	800,973,757		
(2) 受 託 工 事 収 益	154,294		
(3) その他の営業収益	38,700,321	839,828,372	
2 営業費用			
(1) 配 水 及 び 給 水 費	593,049,117		
(2) 受 託 工 事 費	144,200		
(3) 総 係 費	18,152,776		
(4) 減 価 償 却 費	272,693,738		
(5) 資 産 減 耗 費	42,631,754	926,671,585	
営業損失			86,843,213
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	9,378		
(2) 他 会 計 負 担 金	3,354,000		
(3) 長 期 前 受 金 戻 入	90,814,222		
(4) 雑 収 益	8,927,888		
(5) 他 会 計 補 助 金	79,620,200	182,725,688	
4 営業外費用			
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	5,985,763		
(2) 雑 支 出	8,913,290	14,899,053	167,826,635
経常利益			80,983,422
5 特別利益			
(1) 過 年 度 損 益 修 正 益	3,319,172	3,319,172	
6 特別損失			
(1) 過 年 度 損 益 修 正 損	87,041	87,041	3,232,131
当年度純利益			84,215,553
前年度繰越利益剰余金			731,494
その他未処分利益			50,000,000
剰余金変動額			
当年度未処分利益剰余金			134,947,047

(4) 貸借対照表 (令和5年3月31日)

資産の部

(単位:円)

1 固定資産				
(1) 有形固定資産				
ア 土地			178,978,608	
イ 建物	9,925,450			
減価償却累計額	△ 6,084,698		3,840,752	
ウ 構築物	12,659,993,320			
減価償却累計額	△ 5,903,572,908		6,756,420,412	
エ 機械及び装置	248,051,940			
減価償却累計額	△ 195,959,365		52,092,575	
オ 車両運搬具	22,824,075			
減価償却累計額	△ 11,049,863		11,774,212	
カ 工具器具及び備品	73,154,088			
減価償却累計額	△ 28,273,903		44,880,185	
キ 建設仮勘定			118,272,000	
有形固定資産合計				7,166,258,744
(2) 無形固定資産				
ア 電話加入権			1,265,400	
無形固定資産合計				1,265,400
固定資産合計				7,167,524,144
2 流動資産				
(1) 現金預金				
(2) 未収金			692,722,369	
貸倒引当金		77,657,812		
		△ 295,378		77,362,434
(3) 貯蔵品			1,337,160	
流動資産合計				771,421,963
資産合計				7,938,946,107

負債の部

(単位：円)

3 固定負債			
(1) 企業債		1,094,031,883	
(2) 引当金			
ア 退職給付引当金	25,032,290		
引当金合計		25,032,290	
固定負債合計			1,119,064,173
4 流動負債			
(1) 企業債		13,546,950	
(2) 未払金		41,266,496	
(3) 前受金		23,695	
(4) 引当金			
ア 賞与引当金	12,193,000		
引当金合計		12,193,000	
(5) 預り金		40,678,358	
流動負債合計			107,708,499
5 繰延収益			
ア 国庫補助金長期前受金	19,063,354		
収益化累計額	△ 3,621,954	15,441,400	
イ 県費補助金長期前受金	65,605,639		
収益化累計額	△ 53,669,742	11,935,897	
ウ 工事負担金長期前受金	4,315,506,742		
収益化累計額	△ 1,887,553,177	2,427,953,565	
エ 受贈財産評価額	79,431,826		
長期前受金			
収益化累計額	△ 15,412,207	64,019,619	
繰延収益合計			2,519,350,481
負債合計			3,746,123,153

資本の部

(単位：円)

6 資本金			
(1) 自己資本金			
ア 固有資本金	17,800,646		
イ 出資金	747,568,613		
ウ 組入資本金	2,882,239,712		
自己資本金合計		3,647,608,971	
資本金合計			3,647,608,971
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
ア 工事負担金	95,068,288		
イ 受贈財産評価額	1,198,648		
資本剰余金合計		96,266,936	
(2) 利益剰余金			
ア 利益積立金	30,000,000		
イ 建設改良積立金	284,000,000		
ウ 当年度未処分利益剰余金	134,947,047		
利益剰余金合計		448,947,047	
剰余金合計			545,213,983
資本合計			4,192,822,954
負債資本合計			7,938,946,107

※1 賞与引当金の取り崩し

当年度において、賞与引当金12,399,000円を取り崩し、6月期末勤勉手当に充当した。

※2 貸倒引当金の取り崩し

当年度において、貸倒引当金138,358円を取り崩し、貸倒れ債権として欠損処理をした。

※3 建設改良積立金の取り崩し

当年度において、建設改良積立金50,000,000円を取り崩し、建設改良費に充当した。